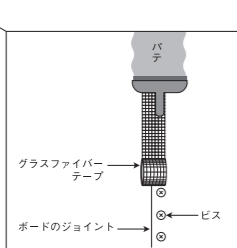


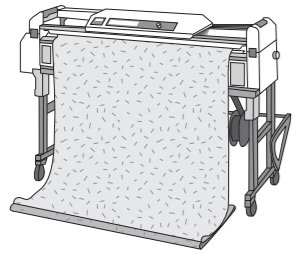
■下地処理

合板下地の場合は、アク止めシーラーを塗ってください。
モルタル・珪酸カルシウム板へは、適切なシーラーを塗ってください。



- 1 ボードのジョイントはグラスファイバーテープでテーピングをし、パテで平滑にしてください。

■糊付け

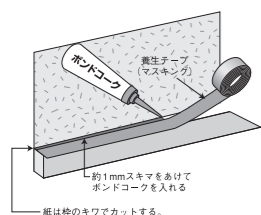


- 1 内表で巻いてあります。紙の裏表をよく確かめ糊付け機にセットしてください。
- 2 原液使用タイプの糊をお勧めします。
希釈タイプの糊は、水を少なく、濃い目に溶いてください。
- 3 糊は多めに付け、石膏ボードにしっかりと圧着してください。
- 4 糊付け後はクロスボックス等を使用し糊の乾燥を防いでください。
長時間の付け置きはしないでください。
(特に端部の乾燥にご注意下さい)
- 5 紙は伸縮します。糊付け後のオープンタイムは、10~20分とします。

■張りつけ



- 1 紙は突き付けで張りジョイントの合わせ切りはできるだけ避ける。
- 2 突きつけ部をよく押さえ、接着力を高める。
- 3 入角はカットしてボンドコークを入れ、廻し張りはしないようにしてください。
(引渡し後に入角が割れたら再度ボンドコークを入れて塗料を塗るだけで補修できます)
- 4 枠周りや巾木などの取り合いは壁際でカットして、ボンドコークを薄くいれてください。
- 5 湿度85%以上、または気温5℃以下での施工は避けてください。
- 6 No.002はマスキングテープ・セロハンテープが貼れません。施工の際はご注意ください。
- 7 紙を張った糊が十分乾燥した後に塗装してください。
(晴れた日で8時間以上)



- 1 手垢等による部分的な汚れは、中性洗剤を溶かした水を雑巾やスポンジに含ませて柔らかく拭き、もう一度水でしぼった雑巾で拭き取ってください。洗剤のいないメラミンスポンジなら、水を含ませて軽くこするだけで良く落ちます。
- 2 雑巾掛けで取れない場合は、残しておいた補修用塗料を筆などで周囲をぼかすように上塗りを行なってください。
- 3 小さなキズは、残しておいた補修用塗料で塗装すれば直ります。
- 4 壁紙がはがれても、紙が残っていれば裏に糊を付けて押さえて元に戻します。
糊が乾いてから、筆などで周囲をぼかすように上塗りを行なってください。
- 5 全体的に汚れてきたり、雰囲気を変えたいときは、そのまま塗り重ねができます。
壁紙を剥がさずに塗り替えは10回程度可能です。
タバコのヤニなどで壁面の汚れが著しい場合は、水性ヤニ止めシーラーを塗装してから上塗りしてください。
- 6 粘着性の高いマスキングテープやセロハンテープを貼らないでください。下地まで一緒に剥がれる可能性があります。

無塗装施工について

カラーワークスペーパーは塗装仕上げの風合いを良くする為の下地調整紙です。
素地のままでは、下記のような問題がありますので、お勧めしておりません。

無塗装の問題点

- 再生紙の為、同ロットでも素地の色違いが起きる。
- シミのような斑点が残って見える場合がある。
- 紙と紙のジョイントがはっきりとわかる
- 汚れやキズが付きやすく、一旦付くと取れなくなる。
- 無塗装のままでは補修ができない。

上記のことが問題となりかねますので塗装していただく事をお勧めしております。

株式会社カラーワークス
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野1-1-40 TEL: 046-278-3029 FAX: 046-272-7200
ホームページ <http://www.colorworks.co.jp>

COLORWORKS